

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	音楽B		
英文授業科目名	Music B		
開講年度	2007年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	長岡 英		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
mnagaoka@za3.so-net.ne.jp	

【主題および達成目標】
<p>西洋音楽史--声楽史--</p> <p>西洋音楽は私たち日本人の生活の中に溶け込んでいて、テレビ・コマーシャルなどにさまざまなクラシックが使われている。音楽Bでは中世から20世紀までの声を用いた音楽を取り上げ、クラシック音楽に関する理解を深める。</p> <p>音楽の本来の姿は「鳴り響き」である。したがって試験では、授業で取り上げた曲のいくつかを聞いて、作曲家名、題名などを同定したうえでその曲に関して論述する、リスニング問題も出題する。西洋クラシック音楽に関する、大学生としての教養・常識を身につけることが目標である。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
原則として、音楽Aを履修したものが音楽Bを履修できる。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
世界史と音楽の基礎知識があることが望まれる。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【教科書等】

教科書：久保田 慶一、ほか「はじめての音楽史」音楽之友社

【授業内容とその進め方】

様々な声楽ジャンルにおける代表的な作品を聴き、分析することにより、西洋音楽史における声楽の意味や、時代とともにそれがどう変化したか検討する。

予定

第1回 概説

第2回 グレゴリオ聖歌

第3～4回 ルネサンスの声楽曲

第5～6回 芸術歌曲

第7～9回 歌劇

第10回 20世紀の声を聞いた作品

第11～15回 宗教曲

第16回 予備日

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

2 / 3 以上出席して学期末試験を受けることが採点の対象となる条件。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないので、電子メールで連絡してください。

【学生へのメッセージ】

この講義の目的は音楽を聴くことではなく、聴き方を学ぶことである。音楽的能力（楽譜を読む能力や楽典などの知識）は問わないが、毎時間、受け身で音楽を聞き流すのではなく、曲自体も覚えようとする積極的な態度が必要である。

【その他】